

先週・今週（5月2日から5月13日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

先週および今週のインターバンク市場は、積み期間後半になったことに加え、GCLレポレートが徐々に上昇した影響もあり、業態を問わず強い資金調達意欲が見られた。

無担保コールO/N物は、日を追う毎にレートが上昇する展開となった。出会いレンジは、先週が▲0.04～▲0.01%近辺であったのに対し、今週は▲0.035～▲0.005%近辺と徐々に切り上がった。無担保コールO/N物加重平均レートは、2日の▲0.02%から徐々に上昇し、今週後半には▲0.01%を上回る水準となった。

ターム物に関してはショートターム物を中心に▲0.020～0.005%での引き合いが散見された。

日銀当座預金残高は、法人税・消費税揚げ等の要因により、554～559兆円程度で推移した。

先月の決定会合で連続指値オペの運用の明確化が決定されたことに伴って、先週から今週まで毎営業日指値オペが実施された。応札は全ての日で無かった。

●レポ市場

先週および今週のO/N GCは、5月に入り投資家の資金調達が急速に高まったことから、2日は▲0.17～▲0.13%、6日は▲0.12～▲0.11%出会いと甘めに推移する展開となった。今週は、▲0.105～▲0.08%と先週より小甘い水準で推移した。積み最終を控えて投資家の資金調達圧力が強く、SC見合いの業者のビッドが一巡した後はビッドが見えにくい展開となり、流動性が低くなる時間帯も見られた。

SCはカレント近辺やチーパスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

先週および今週の短国市場は、連休の谷間で閑散なマーケットとなる中、6日に実施された3M物の入札は、テールが流れるやや弱めの結果となった。結果発表後のセカンダリーでは、しっかりと推移した。

今週は、6日の3M物入札がやや弱めな結果になったことを受け、全ゾーンでやや軟調に推移した。9日に実施された6M物の入札は、無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーでは、底堅く推移した。13日に実施された3M物の入札は、強めな結果となった。結果発表後のセカンダリーでも、堅調に推移した。

11日に実施された短国買入オペは、前回と同額の5,000億円でオファーされ、弱めな結果となった。

●CP市場

先週および今週のCP市場は、先週は連休の谷間で閑散となった。今週は連休が明けたことで、事業会社の資金調達が活発化することが期待されたものの、限られた業態の大型発行を除くと件数はさほど伸びなかった。週間(5/9～5/13)の入札総額は7,000億円程度であった。発行総残高は、25兆2,000億円程度と引き続き高水準で推移した。入札レートは、浅いマイナスから0%で実施されているものが多く、総じて狭いレンジであった。

12日には、CP等買入オペが予定通り4,000億円オファーされた。応札額8,178億円、落札額3,979億円、按分レート▲0.003%、平均落札レート▲0.002%となり、在庫売却需要の強さを反映した結果となった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
5/2 (月)	26,818.53	0.225	130.07	△ 0.020	△ 0.133	5,599,800
5/3 (火)						
5/4 (水)						
5/5 (木)						
5/6 (金)	27,003.56	0.240	130.50	△ 0.019	△ 0.115	5,574,400
5/9 (月)	26,319.34	0.245	130.80	△ 0.017	△ 0.086	5,541,300
5/10 (火)	26,167.10	0.245	130.35	△ 0.013	△ 0.087	5,558,000
5/11 (水)	26,213.64	0.245	130.40	△ 0.009	△ 0.098	5,547,900
5/12 (木)	25,748.72	0.244	129.74	△ 0.007	△ 0.098	5,547,800
5/13 (金)	26,427.65	0.240	128.90	△ 0.005	△ 0.096	5,541,100

来週（5月16日から5月20日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
5/16 (月)	4月の企業物価指数(日銀 8:50)	10Y 物価連動 2,000億円 5/17発行		
5/17 (火)	3月のマネタリーサーベイ(日銀 8:50) 3月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)	国有林野借入 631億円 5/25借入		3月の米企業在庫 4月の米小売売上高 4月の米鉱工業生産・設備稼働率 1-3月期のユーロ圏GDP2次速報
5/18 (水)	1-3月期のGDP 1次速報(内閣府 8:50)	5Y 25,000億円 5/19発行		4月の米住宅着工件数 4月のユーロ圏消費者物価指数改定値 4月の英消費者物価指数
5/19 (木)	3月の機械受注統計(内閣府 8:50) 4月の貿易統計(財務省 8:50) 3月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TB1Y 35,000億円 5/20発行	交付税借入 13,000億円 5/31借入	4月の米中古住宅販売
5/20 (金)	4月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 59,000億円 5/23発行	20Y 12,000億円 5/23発行	

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
5/16 (月)	1,400	▲ 12,300	▲ 10,900	国債買入 国債補完 CP買入		14,600	17,700	6,800	TB3M発行▲59000償還46500 個人向け3Y・5Y・10Y発行▲3400 個人向け3・5Y償還500
5/17 (火)	1,000	4,000	5,000	CP買入 被災地支援		4,000	3,900	8,900	10Y物価連動発行▲2000
5/18 (水)	1,000	1,000	2,000				0	2,000	交付税借入▲13000償還11000
5/19 (木)	0	▲ 26,000	▲ 26,000				0	▲ 26,000	5Y発行▲25000
5/20 (木)	0	▲ 2,000	▲ 2,000				0	▲ 2,000	TB1Y発行▲35000償還28800 変動15Y償還4400 エネルギー対策借入▲8000期日8000
週間合計	3,400	▲ 35,300	▲ 31,900	—	3,000	18,600	21,600	▲ 10,300	

5/16は日銀予想、5/17以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、新しい積み期間に入り、基準比率は僅かに上昇する（4月積み期間13.5%→5月積み期間14.0%）。レート水準は、やや低下する事が見込まれるが、引き続き邦銀を中心に調達ニーズの強い展開が予想される。債券レポ市場のGC T/Nは、引き続き▲0.11～▲0.08%近辺での出会いが予想される。

短国市場は、19日に1Y物、20日に3M物の入札実施が予定されている。17日に実施が予想される短国買入オペのオファー額にも注目したい。

CP市場は、事業法人による20日の発行動向が注目される。

主要なイベントは、国内では18日に1-3月期のGDP 1次速報、20日に4月の全国消費者物価指数、海外では、18日に4月のユーロ圏消費者物価指数改定値、4月の英消費者物価指数などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。